

広報誌



 TAKEMOTO
HOSPITAL

菜の花だより

あなたのための医療でありたい

謹賀新年

第43号

2017年1月
発行

医療法人創治 竹本病院



新年のご挨拶



謹んで新年のお祝いを申し上げます。
皆さま、おすこやかに新春をお迎えの事と存じます。
おかげさまで本院でも良い新年を迎える事ができ、大変ありがとうございました。今年も医療を取り巻く環境は相変わらず厳しい状況でございます。
慢性医療では介護療養病床の設置期限は2017年度末までに閉鎖しなければならず、その受け皿となる新しい施設に変換しなければならなくなりました。その一つは「医療機能を内包した施設」と「居住スペースと医療機関に併設」の二つの施設に変換しなければ生き残れない状態となります。また急性期の医療では地域医療構想がございまして、今後のその地域に適した医療提供態勢を整備する

必要があります。病床利用率が低い急性期病院は76%以下の病床を利用していなければ、病院ベッドを削減しなくてはなりません。このような状況にありますので、自分の病院は地域に何を供給でき、どのようなサービスが出来るのかを明らかにして、少しでもより良い病院運営をめざしております。

本年も何とぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様のご健勝と、ご多幸をお祈りいたします。

院長 竹本 範彦

第18回

竹本病院関連施設合同発表会 開催



平成28年11月7日に第18回関連施設合同発表会を四万十ロイヤルホテルにて開催いたしました。竹本病院では毎年一回、当院及び当院関連施設によって、業務に関わる研究発表の場を設けています。この年一回行われる「合同発表会」では毎年、様々な職種の方々に発表いただいております。日頃の努力の成果が見て取れる素晴らしい研究成果が挙がっています。又その研究成果を参考にしようと、近隣地域の医療、施設関係の方々が多数出席され、発表する側、聞き手側の両方に実りあるものとなっております。第Ⅱ部の講演では、講師として当院の竹本範彦院長が講演いたしました。第三部の特別講演では前認知症介護研究・研修東京センター長の本間昭先生をお迎えして「認知症医療の現状と課題」というテーマのもと、経験豊富な先生の体験談もふまえた講演で、どなたでも理解しやすい内容であった為、大変有意義で興味深い講演でした。この合同発表会では施設を越えて情報を共有し、それぞれの立場から皆さんと一緒に考え現場に持ち帰り、実践する機会になる事を目的に開催しています。



「認知症医療の現状と課題」
講師：本間 昭 先生



「今後の医療と福祉の取り組みについて」
講師：竹本病院 院長 竹本 範彦



対象者の「したいこと」の実現に向けて
～携帯電話での家族との繋がり～
竹本病院 作業療法士 武市 寿恵

I 部：演題発表

- ①水分摂取が少ない患者にアプローチした事例
～飲水から摂取へ～
渡川病院 看護師 松本 優一
- ②対象者の「したいこと」の実現に向けて
～携帯電話での家族との繋がり～
竹本病院 作業療法士 武市 寿恵

Ⅱ 部：講演

「今後の医療と福祉の取り組みについて」
講師：竹本病院 院長 竹本 範彦

Ⅲ 部：特別講演

「認知症医療の現状と課題」
講師：本間 昭 先生
(前 認知症介護研究・研修東京センター長)



水分摂取が少ない患者にアプローチした事例
～飲水から摂取へ～
渡川病院 看護師 松本 優一

第十回 院内実践発表会



当院では年1回、症例研究・実践の発表を行っております。
日常業務を理論付け、文章にし、客観的に見て疎かになっていることや、今まで気がつかなかった事柄などを洗い出し、発表することで今後の業務につなげていくというものです。

今回は、看護部とリハビリテーション部が発表を行いました。

1例目はリハビリテーション部が、ADL向上に向けたリハビリテーション部運営の取り組みについて、FIMのアウトカム評価導入によるリハビリスタッフの意識変化について発表しました。

2例目も同じくリハビリテーション部で、当院における生活機能に着目したADL訓練の実施状況の報告をしました。この報告では、ADL向上の為の訓練導入時間、実施状況に着目して、熱心に語ってくれていました。

3例目は看護部が終末期における家族の持つ予期悲嘆へのアプローチについて、熟練看護師から学び取ったことについての発表をしました。

この院内実践発表会も今年で10回目を迎えますが、事例を通して気付かされることが多々あり、参加者からは「気持ちを新たに業務に取り組める」との意見も多く出ていました。今後も患者さんに心のこもった、より良い医療を提供できるよう努力させていただきます。

研修
旅行

ハワイ研修にいったきました



当院では年1回職員のハワイ研修旅行を行っております。昨年の10月31日から6日間の日程で、当院スタッフ2名に参加していただきました。今回の研修先はホノルルにある病院、福祉施設で今回、現地で働く医師や看護師の話を聞き、またその施設見学を終え、忙しい職場を少し離れた異国の地で新しい情報を得て新鮮な気持ちになることができました。又、ショッピングやレジャーも満喫されていたようで心身共にリフレッシュできたのではないかと思います。

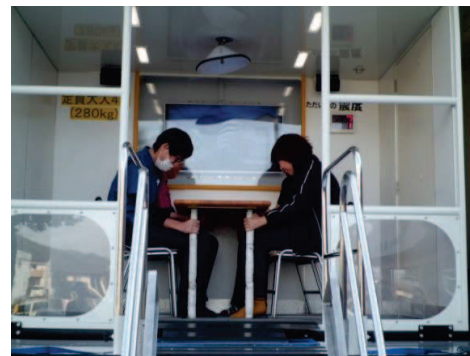
防災訓練を行いました



平成28年12月7日(水)地下厨房より火災が発生し、エレベーターなどの設備が使用できないという想定のもと、初期消火・避難誘導・屋外へ一時避難場所の設置という内容で訓練を行いました。今回の訓練で、まだまだ見直さなければならない所も多々あり、今後も「患者様、及び職員の命を守る」という事を、常に考え続けていきたいと思っております。



地震体験実施



高知県にお住まいの方で知らない方はいないと思いますが、「東海」「東南海」「南海」の3地震が連動して起こる「南海トラフ巨大地震」の発生が懸念されており、死者数は最大で32万3千人と、非常に大きな被害が予測されています。当院では平成28年11月17日に、災害対策の一環としてスタッフ、近隣地域の皆様の防災意識を高める為、地震体験車を招いて地震体験を行いました。当日はすこし寒い風の吹く天候でしたが、当院職員・近隣施設・近隣住民の方84名が参加しました。

震度7！

当院では2度目の地震体験実施をしました。今年の起震車は南海トラフ想定地震を体験できるというもので、体験された方の中には「今までにない恐怖を感じるような、凄まじい揺れでした。」と言っている方もいました…。

竹本病院・治優園 合同忘年会



昨年末、毎年恒例の竹本病院及び治優園の合同忘年会を四万十ロイヤルホテルでおこないました。総勢218名の参加者は、おいしいお料理や、余興など皆さん満足している様子でした。余興後半のくじ引き大会では、旅行券や大型液晶テレビなどの豪華賞品がだされ、大盛り上がりとなりました。治優園、各メーカーの方々、当日はご参加いただき誠にありがとうございました。どうぞ本年も竹本病院を宜しくお願い致します。

❀ みんなでワイワイ楽しい忘年会になりました ❀



祝・勤続15年 ～永年表彰～

当院では、長年にわたって勤務してくれた職員に永年表彰をさせていただいております。昨年12月27日に院長より表彰状、及び金一封が贈られました。

今回の永年表彰では勤続15年を迎えられた、稲葉小夜香さん、桑原康弘さん、梨サナミさんの3名が表彰されました。



スタッフ
募集中

募集職種
看護師・作業療法士



医療法人創治 竹本病院

ワークライフバランス

当院では教育システム、育児支援の充実、多様な勤務形態を導入して、働きやすい職場作りを目指し、看護ケアの質向上へ繋がるよう取り組んでいます。

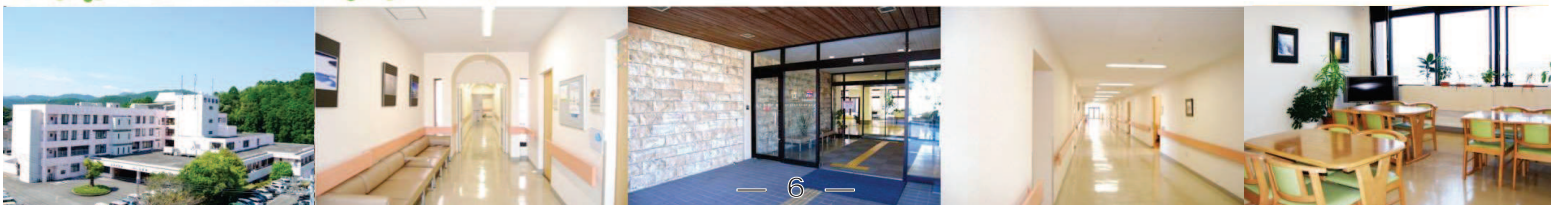
充実した福利厚生

特別休暇制度有り。
結婚しても働きやすい環境です。
(香託託児所有り)
長期勤務者には年1度ハワイ研修もあります。

自然豊かな西南地域

当院は高知県西南部の四万十川に面しており、周辺にはサーフィンや釣りなどが楽しめるスポットが数多くあり、休日など利用してリフレッシュできます。

病院見学随時募集中



診療担当医表

平成29年1月現在

	2診	3診	4診	5診
月	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	六浦 聖二
	午後	竹本 範彦	江川 徹	六浦 聖二
火	午前	竹本 範彦	門元 俊樹 第2・4・5のみ 橋詰 顕正 第1・3のみ	山本 さくら
	午後	竹本 範彦	門元 俊樹	橋詰 顕正
水	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	橋詰 顕正
	午後	竹本 範彦	江川 徹	六浦 聖二
木	午前	竹本 範彦	江川 徹	山本 さくら
	午後	竹本 範彦	藤永 泰宏	天野 絵梨
金	午前	竹本 範彦	藤永 泰宏	天野 絵梨
	午後	橋詰 顕正	竹田 修司	天野 絵梨
土	午前	竹本 範彦 第1・3・5のみ	竹本 育聖 第1のみ 渡邊 利泰 第3のみ	

循環器内科	竹本 範彦・藤永 泰宏・竹田 修司
内科	六浦 聖二・門元 俊樹・山本 さくら・橋詰 顕正
消化器内科	江川 徹
内分泌内科・腎臓内科	天野 絵梨
総合内科	渡邊 利泰・竹本 育聖
呼吸器内科	江口 誠一

■診療時間

午前9時～午後5時30分

土曜日 午前中

■休診

第2・4土曜日

日曜日・祭日（急患はこの限りではありません）



● 当院の基本方針

地域住民の健康の増進を図り、信頼される病院を目指し地域医療に貢献いたします

1. 地域に根ざした医療

3. 患者様中心の医療

5. 健全な病院経営基盤の確立

2. 医療レベルの向上

4. リハビリテーション機能の充実

竹本病院 ご案内

ご案内図

交通案内

土佐くろしお鉄道
中村駅より

タクシー
約5分

徒歩
約15分

患者様の権利章典

当院では、ご利用の皆様へより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただけるよう、努力しています。そうした私たちの医療活動の前提として、患者様には以下に掲げられるような、「患者様の権利」があり、私達医療従事者にはそれを守り発展させる義務があると考えています。

あなたには、人格を持った個人として尊重される権利があります。

あなたには、必要かつ最善の医療を平等に受ける権利があります。

あなたには、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。

あなたには、あらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を求める権利があります。

あなたの医療上の個人情報、およびプライバシーは保護される権利があります。



竹本病院

広報 第43号 2017年 1月発行

〒787-0015 高知県四万十市右山 1973番地2

電話:0880-35-4151 FAX:0880-35-4155

E-mail: th-takemoto@poem.ocn.ne.jp

発行・編集
竹本病院広報委員会
編集長: 杉本 一等



医療法人創治 竹本病院

検索

スタッフ
募集中

URL <http://takemoto-hp.com>

詳しい情報については、ホームページでご覧下さい。